

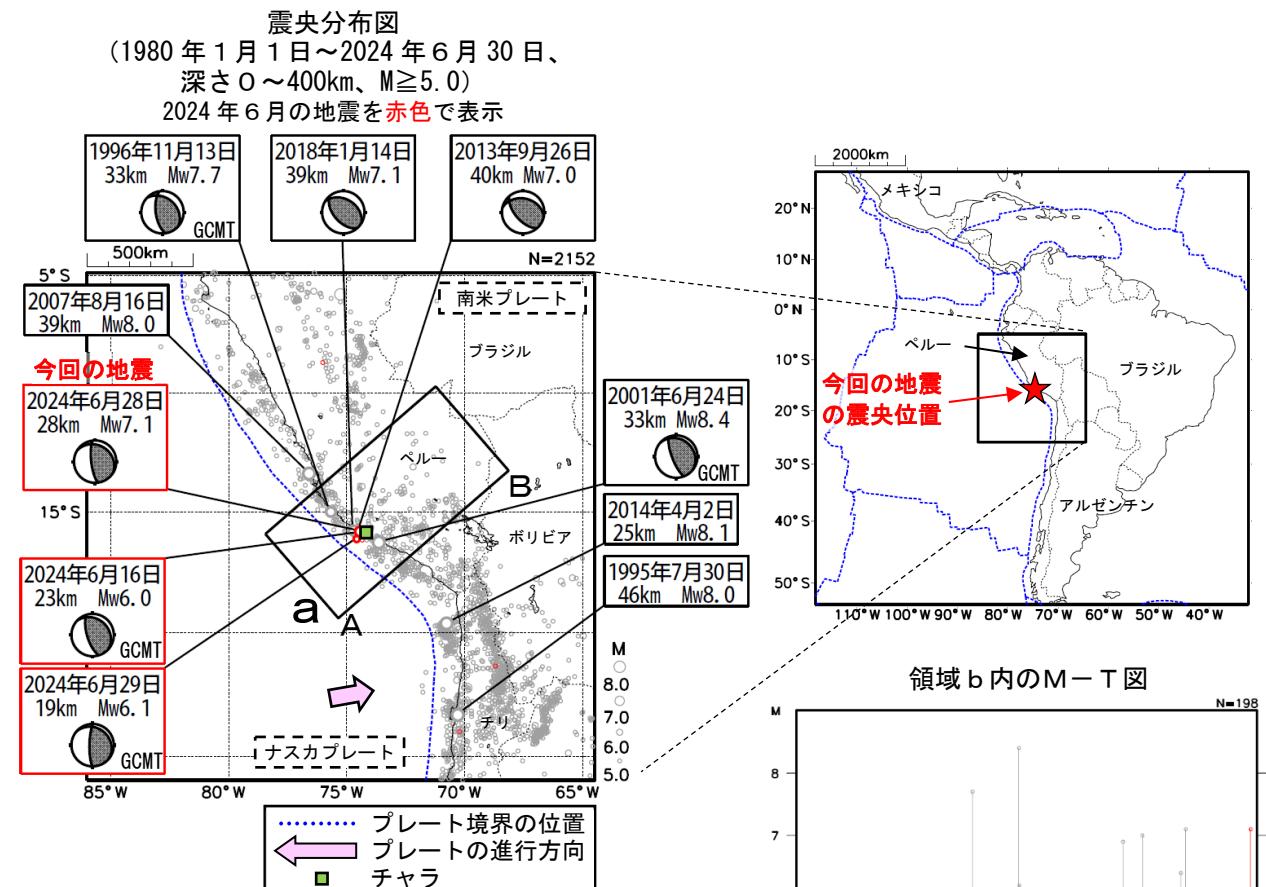
6月28日 ペルー沿岸の地震

2024年6月28日14時36分（日本時間、以下同じ）にペルー沿岸の深さ28kmでMw7.1（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）の地震が発生した。この地震はナスカプレートと南米プレートの境界で発生した。発震機構（気象庁によるCMT解）は東北東-西南西方向に圧力軸を持つ型である。

気象庁は、この地震に対して、同日15時06分に遠地地震に関する情報（日本への津波の影響なし）を発表した。この地震により、チャラ（ペルー）で0.2mの津波を観測した。また、この地震により、負傷者9人などの被害が生じた（2024年6月28日現在）。

また、今回の地震の震源付近（領域b）では、今回の地震の発生前の同月16日にMw6.0の地震が発生していた。

1980年以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）は、M6.0以上の地震が時々発生するなど、地震活動が活発な領域である。今回の地震から東南東に約100km離れた場所では、2001年6月24日にMw8.4の地震が発生し、死者139人などの被害が生じた。また、この地震により太平洋沿岸の広い範囲で津波が観測され、日本国内でも根室市花咲で28cmなどの津波を観測した。



※震源要素は、米国地質調査所(USGS)による(2024年7月4日現在)。ただし、吹き出しが付けた地震の発震機構及びMwは、今回の地震、2013年9月26日の地震、2014年4月2日の地震及び2018年1月14日の地震は気象庁、その他の地震はGlobal CMTによる。地震の被害は、今回の地震はOCHA(UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs:国連人道問題調整事務所、2024年6月28日現在)、その他の地震は宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置はBird(2003)*により引用。海外の津波の観測値は、米国海洋大気庁(NOAA)による(2024年7月4日現在)。

*参考文献 Bird, P. (2003). An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.